for 奉行シリーズ

奉行Edge身上異動届出クラウド

奉行Edge給与明細電子化クラウド　　証憑保管 for 奉行シリーズ

起動するまでの手順書

目次

全体的な流れ　P. 1

1 『奉行製品』との接続　P. 2

2 「導入ガイド」等のダウンロード　P. 4

※『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は、2 は必要ありません。

補足：プロキシサーバーをご利用の方へ　P. 5

全体的な流れ

事前に

『奉行クラウド Edge』について

『奉行 LAND』と『奉行クラウド Edge』の環境構築を完了してから、以下の手順を進めてください。

連携する『奉行製品』について

連携する『奉行製品』で、データ領域を作成しておいてください。手順は連携する『奉行製品』の「ガイドブック」をご参照ください。

※プロキシサーバーを利用している場合は、奉行製品と接続する前に必要な設定があります。先に P.5「補足：プロキシサーバーをご利用の方へ」の設定を確認してください。

＜『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』の場合に、『奉行製品』側で事前に必要な設定＞

■『勘定奉行』の場合

[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定] メニューの [基本設定] ページで、電子証憑の保存を「2：クラウド（証憑保管）」に設定します。

■『蔵奉行』の場合

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定] メニューの【管理設定】-[電子証憑設定] ページで、証憑保管の利用の「証憑保管を利用する」にチェックを付けます。

起動するまでの手順

1 『奉行製品』との接続　P. 2

当サービスにログインします。

サービスで接続情報をコピーし、『奉行製品』で貼り付けます。

2 「導入ガイド」等のダウンロード　P. 4

※『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は、2 は必要ありません。

1 『奉行製品』との接続

① 『管理ポータル』を利用できる利用者で、『奉行クラウド Edge』にログインします。

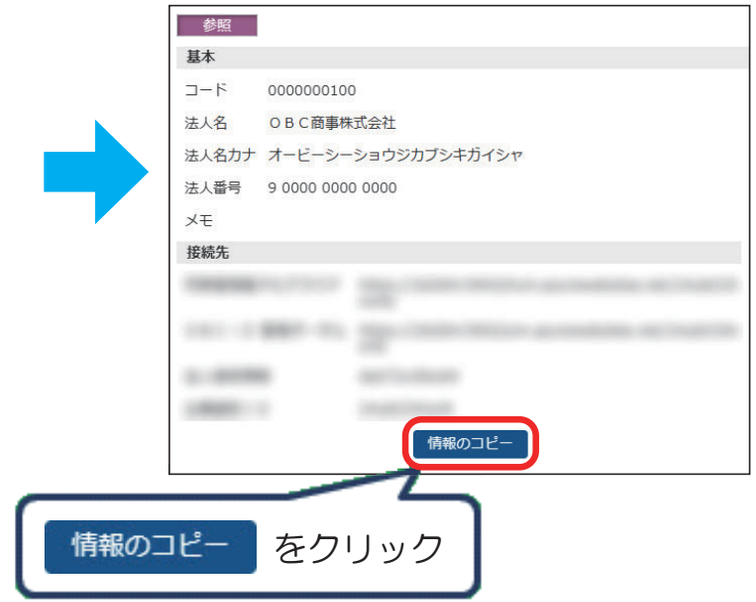
『奉行クラウド Edge』のログイン URL について

『奉行クラウド Edge』の導入処理開始通知メールに記載されています。
件名「【ＯＢＣｉＤ】導入処理をはじめてください」

※[法人情報]-[法人情報] メニューのメニュー権限がある利用者でログインしてください。

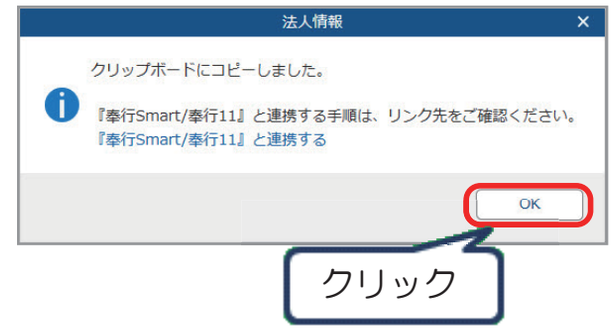
② 『管理ポータル』を起動します。

③ ［法人情報］-［法人情報］メニュー選択し、（参照）をクリックします。



④ 任意の「システム連携ＩＤ」を入力します。
※「システム連携ＩＤ」は、『奉行製品』と連携するためのＩＤです。
　管理者用のＩＤとは別に、任意のＩＤを用意してください。

⑤



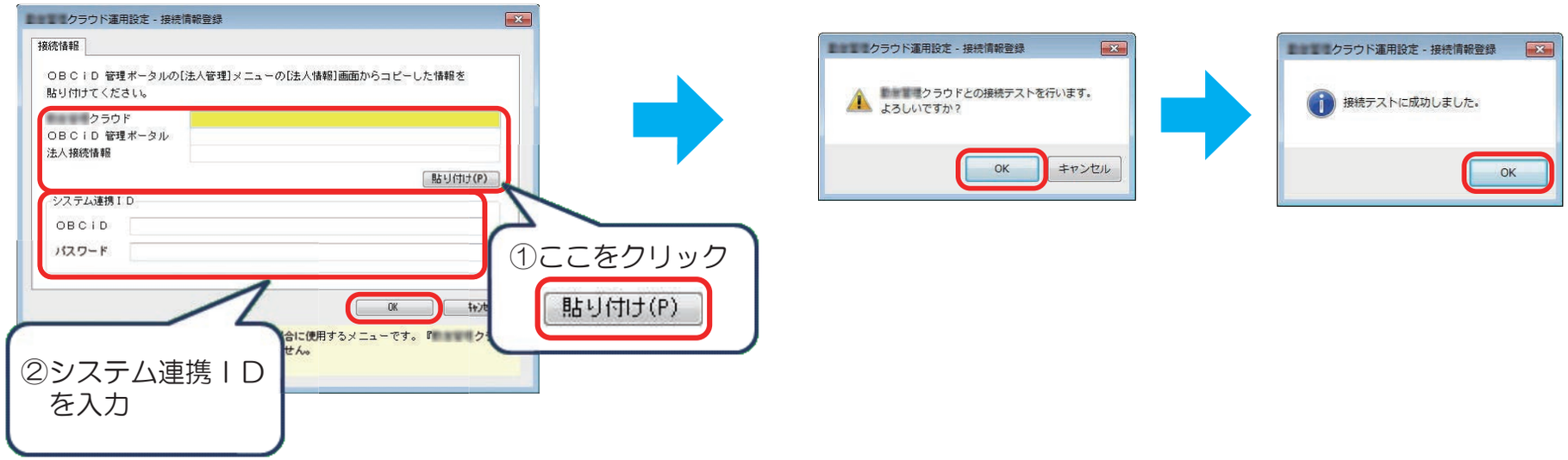
※上記画面が表示されない場合は、⑤へ進みます。

⑥『奉行製品』で以下のメニューを選択します。

■『奉行 Edge 身上異動届出クラウド for 奉行シリーズ』　：『人事奉行』の［導入処理］-［運用設定］-［身上異動届出クラウド運用設定］-［身上異動届出クラウド運用設定］メニュー

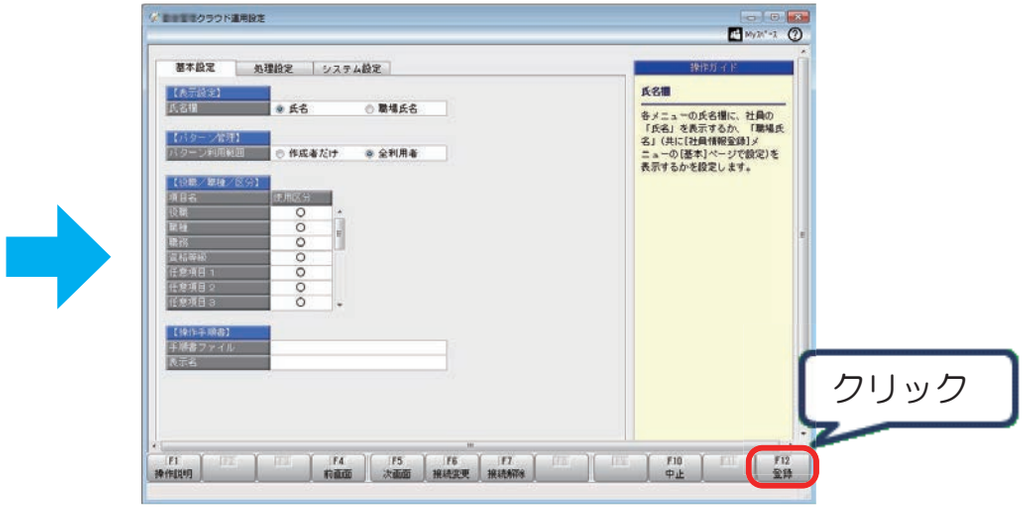
■『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』　：『給与奉行』の［導入処理］-［運用設定］-［給与明細電子化クラウド運用設定］メニュー

■『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』　：『勘定奉行』または『蔵奉行』の［導入処理］-［運用設定］-［証憑保管連携設定］メニュー



⑦ 下記の画面が表示された場合は、必ず［登録］ボタンをクリックします。

『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』の場合は、下記画面は表示されません。



以上で、「1『奉行製品』との接続」の作業は完了です。

続いて、当サービスの導入作業に進みます。
ここからの作業は、奉行 Net サービスで当サービスの「導入ガイド」をダウンロードしてご確認ください。
「導入ガイド」のダウンロード方法は、次ページをご参照ください。

※『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は次ページ以降の作業は必要ありません。

2 「導入ガイド」等のダウンロード

※『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は「導入ガイド」等のマニュアルはありません。

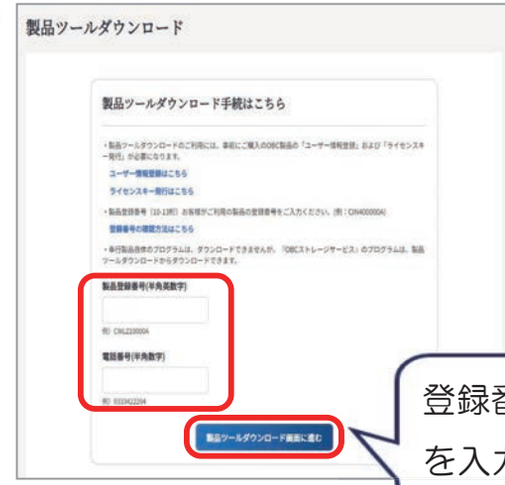
続いて、当サービスのマニュアルをダウンロードしてください。

①

https://www.obcnet.jp/docdl/

インターネットで、
こちらへアクセス

②



登録番号〈※〉と電話番号
を入力してクリック

〈※〉・登録番号は、当サービス（『奉行クラウド Edge』用）の登録番号です。
（連携する『奉行製品』の登録番号ではありません。）

③ **「導入ガイド」等**をクリックして、ダウンロードします。

※提供されるマニュアルは、ご契約いただいたサービスにより異なります。

導入手順を記載しています。

続いて、「導入ガイド」に記載されている手順にしたがって、当サービスの導入を進めてください。

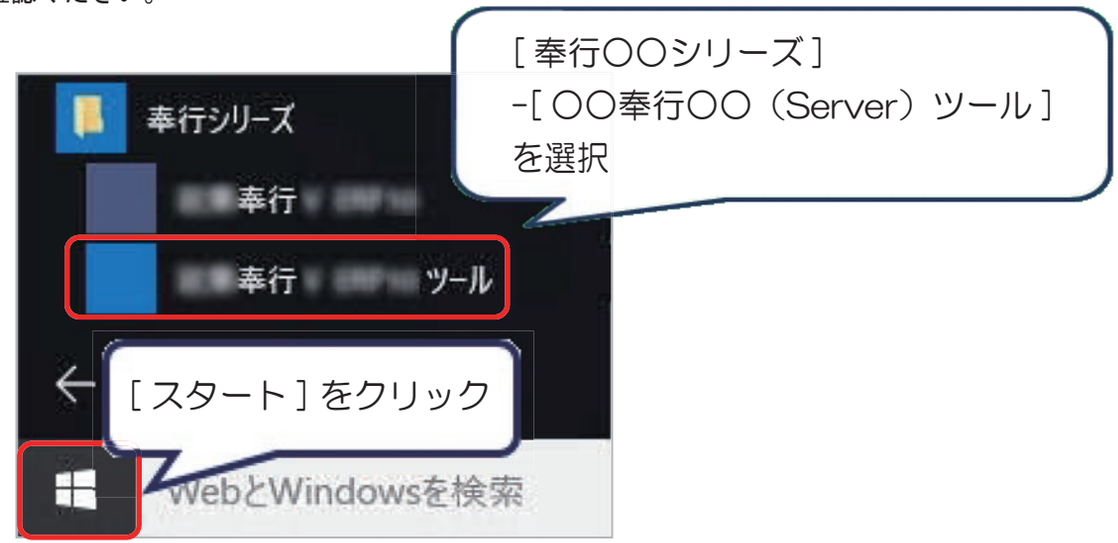
補足：プロキシサーバーをご利用の方へ

当サービスは、『奉行製品』とインターネットを介して接続しています。
プロキシサーバーをご利用の場合は、『奉行製品』から当サービスに接続する際に、あらかじめ、『奉行製品』がセットアップされているコンピュータで以下の設定が必要です。
※プロキシサーバーを利用しているかは、ネットワーク管理者にご確認ください。

注　意

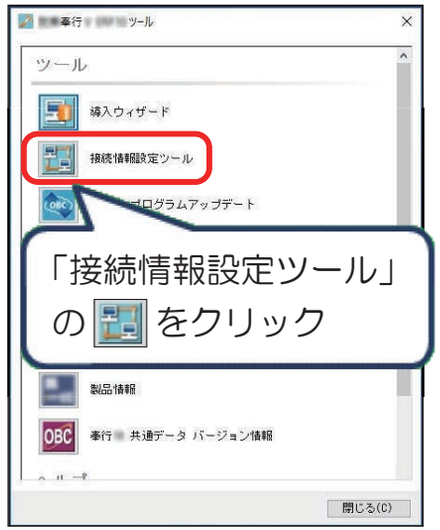
『奉行 11』の「ネットワーク版」と連携する場合は、『奉行 11』のサーバー用コンピュータで設定します。

①



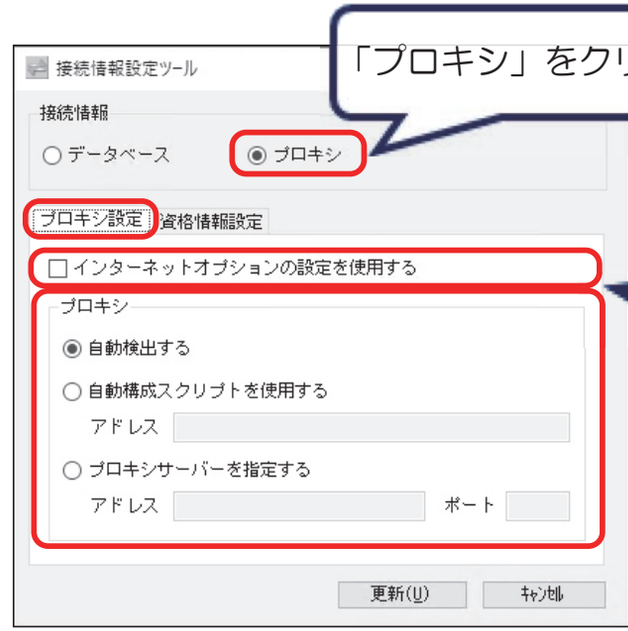
※画面はＯＳや製品により、多少異なります。

②



※画面は製品により、多少異なります。
※ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合は、［はい］ボタンをクリックしてください。

③

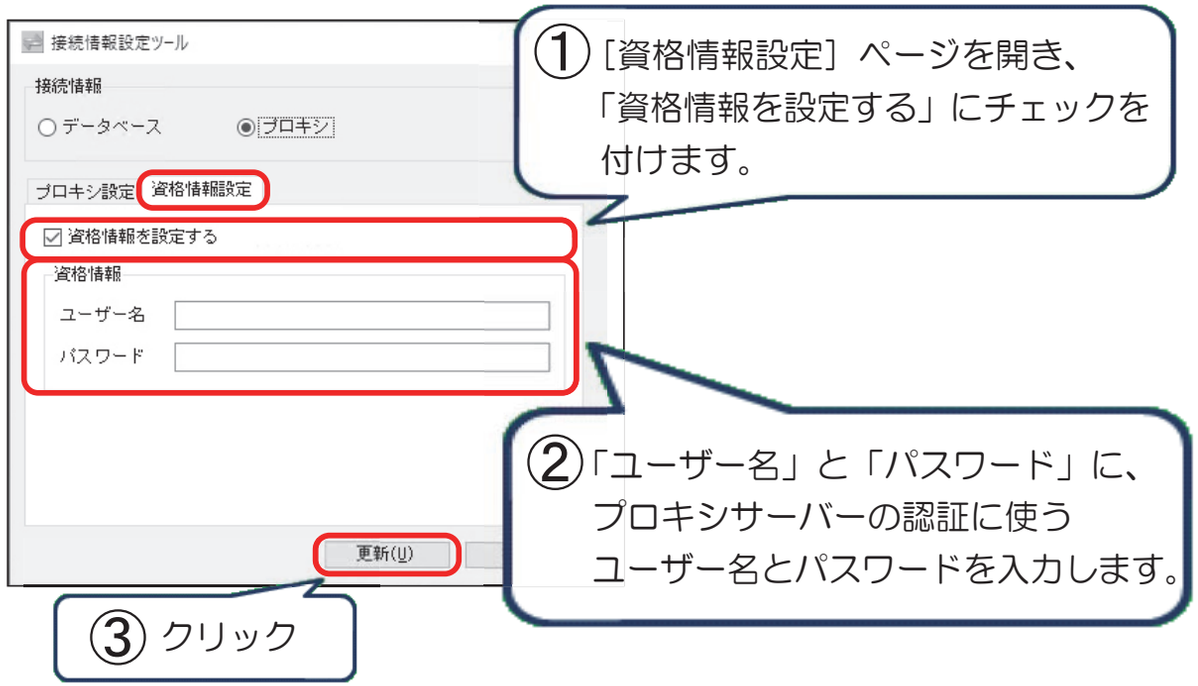


［プロキシ設定］ページで「インターネットオプションの設定を使用する」のチェックを外し、プロキシサーバーへ接続する方法を設定します。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合は、続いて次ページへ進みます。

設定していない場合は、［更新］ボタンをクリックして設定作業が完了です。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合



以上で、プロキシサーバーに関する設定の作業は完了です。

— 禁 無 断 転 載 —

２０２６年１０月１６日　　第 24 版

著　者　　株式会社オービックビジネスコンサルタント　システム開発グループ
発行所　　株式会社オービックビジネスコンサルタント　出版部

https://www.obc.co.jp